

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	学校企画課長 高橋 泰幸	電話番号	0852-22-5408
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	進路希望実現のための講師配置事業		
目的	(1) 対象	○進路指導教員代替講師 … 専門高校及び就職者の多い普通科高校20校 ○教科指導充実講師配置 … 進学者の多い普通科高校13校	
	(2) 意図	○進路指導主事等の授業時数を軽減し、求人開拓等の機会を増やし、就職指導の充実・強化を図る。 ○少人数指導や個別指導等の個々の生徒に応じたきめの細かい教科指導の充実を図り、進路希望実現に向けた支援を強化する。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導代替講師配置事業において、進路指導主事または就職担当教員の授業時数を軽減するために、講師を配置し、就職指導の充実・強化、とりわけ県内就職に向けた支援の強化を図る。</li> <li>・教科指導充実講師配置事業において、少人数指導・習熟度指導・個別指導等一人ひとりに応じたきめの細かい指導の充実を支援するために、講師を配置し、多様な生徒の進路希望実現を図る。</li> </ul>		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	県立高校生の就職内定者に占める県内就職内定率	目標値		74.00	76.00	78.00
			実績値	77.60	78.60	77.40	79.20		
			達成率		106.20	101.80	101.60		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	43,868	78,118
うち一般財源(千円)	43,868	78,118

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

就職希望者の就職内定率は、高水準を保ちながら年々上昇（H22 96.7% → H23 97.7% → H24 98.3% → H25 98.6% H26 99.5%）しており、いる。また、就職内定者に占める県内就職内定率も年々上昇（H22 74.1% → H23 77.6% → H24 78.6% → H25 77.4% H26 79.2%）している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

進路指導教員代替講師配置により、県内企業との連携、求人開拓、就職した卒業生のフォローアップなどが充実し、就職内定者に占める県内就職内定率がさらに向上した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

県内就職内定率は、県東部の高校では80%を超えるが、県西部の高校では80%を下回る。

②困っている状況が発生している「原因」

県西部の高校では従来より就職希望先として県外を選ぶ傾向があり、県東部の企業への関心が高くない。

③原因を解消するための「課題」

県外志向の強い県西部の高校において、県内の企業を知る機会やインターンシップの機会が少ない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

県外希望の就職希望者が多い県西部の高校を中心に、県内の企業と連携をとりながら、説明会や企業見学会、インターンシップの機会を設定する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）